

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第 8 号
2023年 7 月 31 日



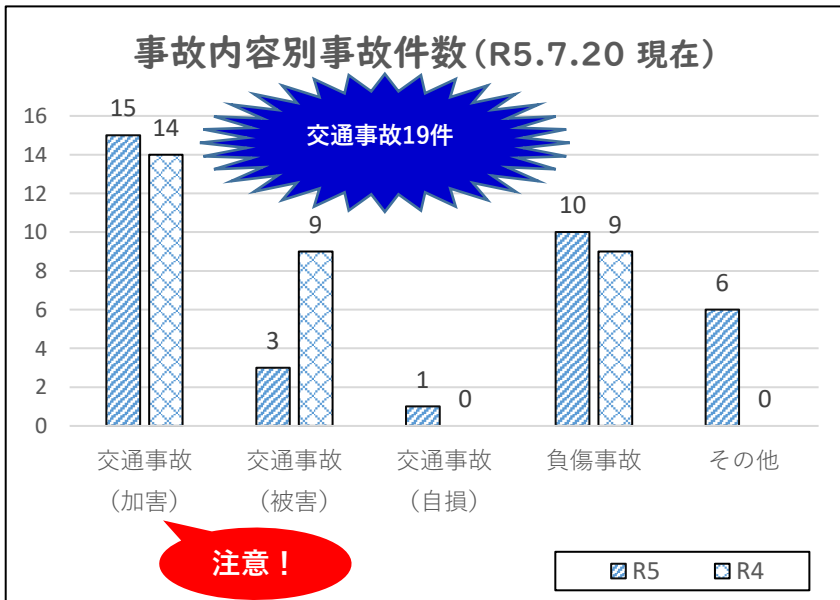
疲労を蓄積させない働き方で 事故の防止を！



加害事故が増加

4月1日から7月20日までの教職員に係る事故の発生状況をお知らせします。事故の総数は35件で昨年(32件)より増加傾向です。下のグラフで事故の内容や月別の事故件数を見ると今年度の注意点に気付きます。

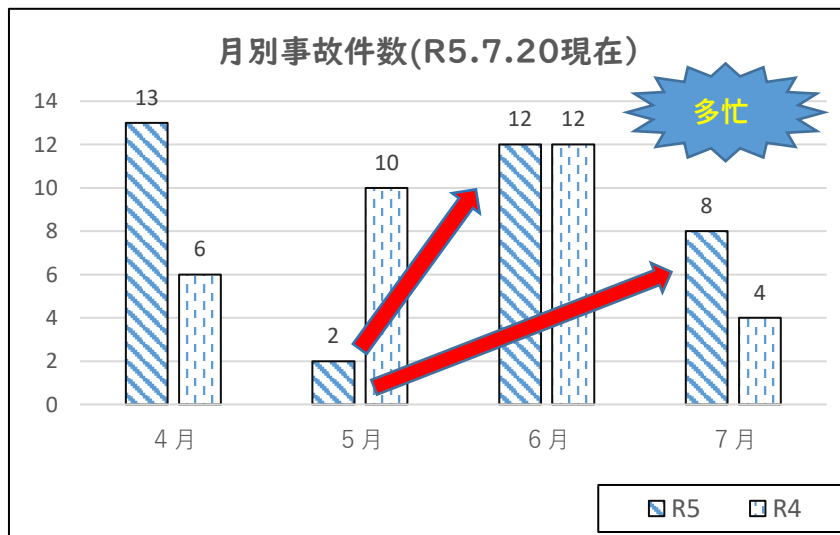
夏休みに入りましたが、先生方は、体験活動や個人面談等の対応で、まだまだ気の休まらない状況かと思えます。それでもこの機会を有効に利用し、これまでの疲労を癒やすとともに、仕事と休養のバランスを考慮した、疲労を蓄積させない働き方を自分なりに工夫し、事故防止に努めてください。



事故内容では、「交通事故」19件のうち、15件が加害事故というように、加害者としての事故の割合が高くなっています。加害事故のほとんどが運転者の不注意による追突事故です。

生徒指導中の「負傷事故」も多くなっています。児童生徒の特性に配慮した組織的な生徒指導体制を構築することにより、児童生徒の感情の起伏を抑えていくことも、負傷事故の防止につながります。

「その他」の事故6件は、主に児童生徒や保護者への対応、個人情報の取扱いに係る事故です。



事故発生月では、年度始めの4月が最も多く、5月には落ち着きが見られましたが、6月から7月にかけて急増しています。学校の多忙な時期に合わせて事故が多くなっています。

疲労が蓄積すると注意力が散漫になり、事故の危険性は高まります。

交通事故に関しては、時間や心にゆとりのある運転により、未然に防止することができた例も多くあります。



夏休み、これまでの疲労を十分に癒してください。